

平成31年2月21日（木曜日）午後2時07分 開 議

●議事日程第1号 2月21日（木曜日）

第1 開 会

第2 会期の決定

第3 行政報告及び提出議案説明

第4 平成31年度施政方針

第5 議案第1号 平成31年度飯塚地区消防組合予算  
(提案理由の説明、質疑、討論、採決)

(追加)  
第6 議案第2号 福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の  
数の増減及び福岡県市町村職員退職手当組合同約の変更  
(提案理由の説明、質疑、討論、採決)

第7 一般質問

第8 署名議員の指名

第9 閉 会

●会議に付した事件

議事日程のとおり

午後 2 時 0 7 分 開会

○議長（藤浦 誠一）

△開会

出席議員が定足数に達しておりますので、これより平成 3 1 年第 1 回飯塚地区消防組合議会定例会を開会いたします。

△会期の決定

会期の決定を議題といたします。おはかりいたします。本定例会の会期は、2 月 2 1 日、一日といたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は、2 月 2 1 日、一日と決定いたしました。

△行政報告及び提出議案説明

行政報告及び提出議案説明に入ります。

組合長の行政報告及び提出議案の説明をお願いいたします。片峯組合長。

◎組合長（片峯 誠）

本日、平成 3 1 年第 1 回消防組合議会定例会を招集するにあたり、昨年 1 2 月の定例会以降、本日までの事務事業の概要を報告し、審議の参考に供します。

はじめに、管内における平成 3 0 年中の火災、救急等の発生状況について報告いたします。

火災件数は、7 2 件で、このうち建物火災 2 9 件、同焼損面積 1, 4 9 4 平方メートル、建物火災の損害額は 9, 2 4 1 万 2 千円となっております。死傷者については死者 1 人、負傷者 3 人となっております。

これを前年と比較しますと、建物火災件数 1 件の増、同焼損面積 1 8 1 平方メートルの減、火災損害額 9 7 4 万円の増、死者は 2 人の減、負傷者は 4 人の減となっております。

次に、救急出動件数は 9, 9 6 9 件、救急搬送人員は 9, 1 0 1 人で、これを前年と比較しますと、救急出動件数 2 1 0 件の増、救急搬送人員 3 8 人の増となっております。

次に、救助出動件数は 1 4 4 件で前年と比較し 4 0 件の増となっております。

以上が管内における平成 3 0 年中の火災、救急等の発生状況であります。今後とも火災の予防、警防並びに諸災害の防除に全力を傾注してまいり所存であります。

次に、事務事業の進捗状況につきましては、全国一斉の「文化財防火デー」行事の一環として、管内の文化財等での総合訓練並びに 1 2 箇所文化財防火査察を実施し、貴重な国民的財産等の防火点検並びに防火意識の高揚に努めました。

また、火災予防広報につきましては、組合管内の小学校六年生を対象にした防火ポスターコンクールを実施し、飯塚美術協会のご協力を得て、管内の 2 8 校から応募された 1, 3 1 9 作品のうちから、6 4 点の入選作品を決定いたしました。

なお、最優秀作品 1 点については、飯塚地区消防組合のオリジナル防火ポスターとして作成

し、管内事業所等に配布するほか、入選作品については、3月1日から3月7日までイオン穂波ショッピングセンターにおいて、防火ポスター展を開催する予定であります。

以上が昨年12月消防組合議会定例会以降、本日までの事務事業の概要であります。

次に、これより本消防組合議会に提案いたします議案について申し上げます。

今議会に提案いたします議案は、「平成31年度予算」及び「福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更」の2件であります。

はじめに、議案第1号、平成31年度予算は、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ50億6,809万7千円と定めております。

次に、追加議案といたしまして、議案第2号、福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更は、加入団体を脱退及び加入させるとともに、規約を変更するものであります。

議案の内容は、担当者から説明させますので、よろしくご審議のうえ、ご議決いただきますようお願いを申し上げまして行政報告及び提出議案の説明を終わります。

○議長（藤浦 誠一）

次に、「平成31年度施政方針」の説明を求めます。片峯組合長。

◎組合長（片峯 誠）

平成31年度予算案を提出するにあたり、施策に対する基本方針と予算の概要について申し述べ、議員各位のご協力とご理解を得たいと存じます。

我が国の経済状況は、昨年12月の月例経済報告で「景気は緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」とされており、長期的には景気回復が期待されるものの、海外の景気や金融資本市場の不安定な状況は依然として続くものと考えられ、消防組合を構成する各市町においても、依然として、景気回復による財政状況の急速な改善を見込むのは難しいと考えられます。

消防組合の財政状況につきましては、組合を構成する各市町の人口減が進む中、飯塚市、嘉麻市では市町村合併に伴う地方交付税の特例算定が期限を迎え、平成28年度から地方交付税の合併算定替の縮減が始まっていることから、構成市町からの負担金を主な財源とする消防組合の財政状況につきましても、一層厳しくなっておりますが、このような厳しい財政状況にありましても、消防の第一の使命である住民の生命、身体及び財産を守り、「安全・安心な地域社会」を目指す努力は変わるものではありません。

また、飯塚地区消防組合が進めております「飯塚地区消防組合基本計画」も大詰めを迎え、平成31年度は飯塚消防署、桂川分署及び岩崎出張所の建設に着手いたします。厳しい財政状況の中であって、これまでにない投資的経費を必要としますが、住民の立場に立った「より良い財政運営の確立」を念頭に、その必要性効果を十分に見極めたうえで、再度精査し厳しく取

捨選択を行いました。

このような方針に基づき編成いたしました平成31年度予算の総額は、50億6,809万7千円で平成30年度当初予算と比較しますと、伸び率83.35%の増となっております。

この前年度と比較した大幅な予算の増額は、只今ご説明いたしました、新庁舎建設事業に伴う費用を計上したことによるものであります。

まず、歳入の主なものは、各市町から分賦していただきます分担金及び負担金20億8,919万8千円、構成比41.22%、庁舎建設等に充当します財源として21億2,480万円、構成比41.93%であります。

次に、歳出の主なものは、人件費19億1,266万6千円、構成比37.74%、物件費1億3,835万1千円、構成比2.73%及び投資的経費29億1,915万2千円、構成比50.60%等であります。

その他、財政の弾力的運用が図られるよう調整的なものとして、300万円を予備費に計上いたしました。

次に、主な施策の概要について申し述べます。

第1に、飯塚地区消防組合組織再編実施計画の進捗状況についてであります。昨年4月の庄内元吉出張所の開庁に続き、嘉麻市大隈町に建設中でありました嘉麻分署が12月21日に竣工し、今年3月から試行運用を行った後、4月1日から正式に業務を開始する予定であります。地域に愛される消防を目指し、今後も関係者並びに地域の皆さまのご理解ご協力を頂きながら、組織再編計画を滞りなく進めて参ります。

第2に、消防防災体制の強化についてであります。一昨年の九州北部豪雨や昨年の平成30年7月豪雨のように、かつて私たちが経験したことのないような甚大な被害を伴う災害が、毎年のように全国各地で発生しております。このような災害に対し、住民の尊い生命・身体・財産を守るため、消防本部内の訓練はもとより、緊急消防援助隊の九州ブロック合同訓練及び福岡県総合防災訓練等への参加を通じて、消防機関相互の広域応援体制の連携を図るとともに、地域防災組織の中核である消防団との協力体制の一層の強化に努めて参ります。

第3に、救急業務の高度化についてであります。救急業務での救命効果の向上を図るため、年次計画に基づき救急救命東京研修所及び九州研修所の救急救命士養成課程に各1名、福岡県消防学校の救急救命士処置拡大講習に1名、救急科に4名を入校させます。また、救急救命士14名に飯塚病院での院内研修を実施し、救急隊員の資質の向上を図るほか、医療機関等との密接な連携に努め、救急業務の高度化に積極的に取り組んで参ります。

第4に、住宅防火対策の推進についてであります。住宅火災は、10年前と比較しますと全国的にみて約30%の減少、犠牲者につきましては約23%の減少と、減少傾向が続いております。しかしながら、住宅火災による死者は年間900人弱という高い数値で推移しており、この死者のうち約7割が65歳以上の高齢者であることを踏まえ、今後さらに高齢化が進むに伴い、住宅火災における高齢者の死者数の増加が懸念されております。このことから、住宅火災による犠牲者の減少に向け、高齢者世帯を中心とした住宅の防火診断及び自治会

等での防火講話を通じて、住宅防火意識の普及啓発に努め、住宅用火災警報器の設置推進及び高齢者等の災害弱者に配慮した住宅防火対策を各市町の担当部局及び関係機関と密接に連携を取りながら進めて参ります。

以上、施策の概要と所信の一端を述べ審議の参考に供し、重ねて議員の皆様のご協力をお願いする次第であります。

○議長（藤浦 誠一）

議案第1号「平成31年度飯塚地区消防組合予算」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。鬼丸消防長。

◎消防長（鬼丸 徳寿）

議案第1号「平成31年度飯塚地区消防組合予算」について、ご説明申し上げます。お手元の、平成31年度飯塚地区消防組合予算書の1ページをお開き願います。

まず、第1条、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ、50億6,809万7千円で、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、2ページ・3ページ、第1表、歳入歳出予算のとおりでございます。次に、第2条、地方自治法第213条第1項の規定により、翌年度に繰越して使用することができる経費は、4ページ、第2表繰越明許費のとおりでございます。次に、第3条、地方自治法第230条第1項の規定により、起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率、及び償還方法は、4ページ、第3表、地方債のとおりでございます。次に、第4条、地方自治法第235条の3、第2項の規定による、一時借入金の、借入れの最高額は、1億3千万円といたしております。

予算の内容につきましては、歳入歳出予算事項別明細書により、ご説明いたします。

6ページをお開き願います。それでは、2.歳入からその主なものについて、ご説明いたします。まず、1(款)分担金及び負担金、1(項)負担金、1(目)組合費負担金、20億8,399万2千円、前年度比、1億1,547万8千円の減、5.25%の減額となっております。減の主な理由は、飯塚市、嘉麻市の合併特例算定加算額が、50%から30%に減額になることによるものでございます。なお、算定については、平成30年度の消防単位費用11,300円を基に算出したしております。次に、2(目)防災行政情報通信ネットワーク再整備事業、構成市町負担金、462万8千円につきましては、平成29年度から平成31年度までの3カ年度計画に基づき、平成31年度分を計上いたしております。次に、3(目)、施設整備事業構成市町負担金、57万8千円は、平成30年度に防災対策事業として実施いたしました、指令設備中間更新事業債の地方交付税措置分を、平成31年度から10年間にわたり各市町からご負担いただくものであります。なお、各目の各市町の負担金額は、説明欄記載のとおりでございます。

次に、2(款)使用料及び手数料、1(項)使用料、1(目)総務使用料、1万6千円、前年度比、2千円の減となっております。次に、2(項)手数料、1(目)消防手数料、120万5千円、前年度と同額を計上いたしております。

次に、3(款)財産収入、1(項)財産運用収入、1(目)財産貸付収入、206万2千円、前年

度比92万2千円の増、これは、庁舎に設置する自動販売機の建物貸付料を昨年4月に新たに、3カ年契約をいたしましたので、計上いたすものでございます。次に、2(目)利子及び配当金、84万4千円、前年度比45万1千円の減、説明欄記載の各種基金の運用利子を計上いたしております。次に、2(項)財産売払収入、1(目)不動産売払収入1,578万6千円は、本年4月に嘉麻分署の開庁に併せて、閉庁する嘉穂派出所、碓井派出所の売払い収入を計上いたすものでございます。2(目)物品売払い収入は、不用品の売払いが未定でございますので、存置科目として計上いたしております。

次に、4(款)繰入金、1(項)基金繰入金、1(目)消防庁舎及び職員公舎建設基金繰入金、7億4,213万円、2(目)消防施設整備基金繰入金、6,007万8千円は、庁舎建設費及び消防ポンプ自動車2台の購入費として、3(目)、財政調整基金繰入金193万8千円は、財源調整のために繰入れるものでございます。

次に、5(款)1(項)1(目)繰越金、150万円は、前年度と同額を計上いたしております。

6(款)諸収入、1(項)1(目)組合預金利子は、歳計現金預金利子を存置科目として計上いたしております。次に、2(項)雑入、1(目)助成金交付金は、前年度と同額の2,830万円を計上いたしております。次に、2(目)雑入、23万8千円、前年度比823万1千円の減、減の主な理由は、福岡県消防学校に、教官として2年間派遣していた、職員の任期が終了し、負担金を減額するものでございます。

次に、7(款)1(項)組合債、1(目)消防債、21億2,480万円、前年度比、17億6,490万円の増、これは、庁舎建設費に充当するため、飯塚消防署、桂川分署、岩崎出張所建設工事費の75%を起債するものでございます。また、消防ポンプ自動車整備事業債は、消防ポンプ自動車2台の購入費を充当分するため、事業費の3分の1を起債するものでございます。以上が、歳入の主なものでございます。

9ページをご覧ください。3.歳出についてご説明いたします。

1(款)1(項)1(目)議会費は、前年度と同額を計上いたしております。

次に、2(款)総務費、1(項)総務管理費、1(目)一般管理費、2,319万1千円、前年度比139万3千円の増、その内訳は、1(節)報酬から11(節)需要費までは、前年度とほぼ同額を計上いたしております。次に、12(節)役務費、585万6千円、前年度比56万3千円の増、これは、国の通知により、隔日勤務職員の心電図検査を年2回実施することが必要となったため、職員健康診断手数料を増額するものでございます。次に、13(節)委託料、1,293万3千円、前年度比、76万3千円の増。次の10ページをお開き願います。委託料の増は、歳入でご説明いたしました、売払い予定の庁舎敷地の測量委託料を計上いたすものでございます。次に、14(節)使用料及び賃借料364万9千円、前年度比3万9千円の増。次に、19(節)負担金補助及び交付金13万3千円前年度比4万3千円の増。次に、25(節)積立金、18万6千円、前年度比1万5千円の減でございます。

次に2(款)総務費、2(項)1(目)監査委員費は、前年度と同額を計上いたしております。

次に、3(款)1(項)消防費、1(目)常備消防費、20億5,098万3千円、前年度比2,

048万5千円の減、その内訳は、2（節）給料8億5,697万1千円、前年度比486万7千円の減、減の主な理由は、一般職員2名の減と、再任用職員3名の減によるものでございます。次に、3（節）職員手当等6億551万6千円、前年度比1,477万4千円の増、増の主な理由は、今年、祝祭日が例年より4日増えますので、休日手当の増を見込んだものでございます。11ページをご覧ください。4（節）共済費2億9,412万8千円、前年度比184万3千円の増、増の主な理由は、職員手当等及び共済費の給与の改定及び率の改正によるものでございます。次に、7（節）賃金395万3千円、前年度比4万円の増となっております。以上、人件費は、再任用職員を含めた、職員243名、及び臨時職員2名分の人件費でございます。次に、8（節）報償費97万2千円、前年度比、1万5千円の増。次に、9（節）旅費、248万3千円、前年度比12万7千円の増。次に、11（節）需用費6,843万4千円、前年度比、140万9千円の増、主な理由は、新庁舎建設に伴い光熱水費の増を見込んだものでございます。次に、12（節）役務費1,839万5千円、前年度比、19万7千円の増でございます。次の12ページをお開き願います。次に、13（節）委託料、2,700万7千円、前年度比、485万2千円の減、これは今年、指令設備を中間更新したことにより保守費用の一部が減額となることによるものでございます。次に、14（節）使用料及び賃借料56万円、前年度比、7万4千円の減。次に、16（節）原材料費5万1千円は、前年度比3万8千円の減。

次に、18（節）備品購入費、583万9千円、前年度比、32万9千円の増、資機材の整備計画に基づき計上いたしております。13ページをご覧ください。19（節）負担金補助及び交付金1億6,491万7千円、前年度比、2,937万1千円の減。減の主な理由は、説明欄記載の退職手当組合負担金の率の見直しによるものでございます。次に、22（節）補償補てん及び賠償金、25（節）積立金及び27（節）公課費は、前年度なみの金額を計上いたしております。次に、2（目）消防施設費、29億1,973万2千円、前年度比23億467万1千円の増、増額の主な理由は、歳入でもご説明いたしました但飯塚消防署、桂川分署、岩崎出張所の庁舎建設事業費を計上いたすものでございます。その内訳は、12（節）役務費、3万は、説明欄記載の各種検査手数料でございます。次に、13（節）委託料、4,164万7千円、その内訳は、説明欄記載の、飯塚消防署、桂川分署、岩崎出張所工事監理業務委託料及び指令設備再構築管理業務委託料を計上いたしております。次に、15（節）工事請負費、28億473万円は、飯塚消防署、桂川分署、岩崎出張所建築工事費を計上いたしております。次に、18（節）備品購入費6,828万2千円は、歳入でもご説明いたしました但、消防ポンプ自動車2台の車両購入費を計上いたしております。次のページをお開き下さい。次に、19（節）負担金補助及び交付金446万3千円、その内訳は、説明欄記載の、飯塚消防署、桂川分署、岩崎出張所水道納付金並びに事務費負担金でございます。次に、25（節）積立金、58万円は、説明欄記載の消防庁舎、及び職員公舎建設基金積立金と消防施設整備基金の預金利子を、積立てるものでございます。次に、3（目）、広域災害対応費、115万4千円、前年度比7万6千円の増、これは、国の方針として緊急消防援助隊を6,000隊することが示されたため、飯塚地区消防本部から消火隊1隊を新たに登録したことにより、登録隊数が、指揮隊、救助隊、

救急隊、後方支援隊、消火隊の計5隊となり、9（節）旅費から14（節）使用料及び賃借料までの経費について増額になったものでございます。なお、緊急消防援助隊につきましては、国の方針として、今後も登録隊を増隊していくことが検討されていますので、当消防本部もその対応について検討していくことが必要となっております。19（節）負担金補助及び交付金は、前年度と同額を計上いたしております。

次に、4（款）1（項）公債費、1（目）元金、6,459万6千円、前年度比1,931万円の増、2（目）利子、523万2千円、前年度比、98万3千円の減でございます。

次に、5（款）1（項）1（目）予備費につきましては、予備的費用として前年度と同額の300万円を計上いたしております。以上が、歳出予算の概要でございます。

次の、16ページ以下の給与費明細書及び地方債の現在高の見込みに関する調書につきましては、説明を省略させていただきます。

以上で、議案第1号、「平成31年度飯塚地区消防組合予算」の説明を終わります。

ご審議のうえ、ご議決賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（藤浦 誠一）

提案理由の説明が終了しましたが、質疑通告書の提出はあっておりませんので、質疑を終結いたします。

討論を許します。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論を終結いたします。

採決いたします。議案第1号「平成31年度飯塚地区消防組合予算」を原案どおり可決することにご異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案どおり可決されました。

次に、追加議案としまして、議案第2号「福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村職員退職手当組規約の変更」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。鬼丸消防長。

◎消防長（鬼丸 徳寿）

議案第2号「福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村職員退職手当組規約の変更」について、ご説明いたします。議案書の1ページをお開き願います。

本案は、平成31年3月31日限りで、ふくおか県央環境施設組合、飯塚市・桂川町衛生施設組合、浮羽老人ホーム組合及び東山老人ホーム組合が解散により、福岡県市町村職員退職手当組合から脱退すること。また、平成31年4月1日から、ふくおか県央環境広域施設組合が新規設置により、福岡県市町村職員退職手当組合に加入すること。これらのことに伴い、福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数を増減し、福岡県市町村職員退職手当

組合規約を変更するため、地方自治法第290条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

改正の内容につきましては、新旧対照表でご説明いたします。3ページをお開きください。

今回の改正は、まず別表第1におきまして、嘉穂郡の項中「ふくおか県央環境施設組合」及び「飯塚市・桂川町衛生施設組合」を削り、「飯塚地区消防組合」の次に「ふくおか県央環境広域施設組合」を加え、同表その他の項中「浮羽老人ホーム組合」及び「東山老人ホーム組合」を削り、次に、次のページの別表第2におきまして、第1区の項中「浮羽老人ホーム組合」を削り、同表第2区の項中「ふくおか県央環境施設組合」、「飯塚市・桂川町衛生施設組合」及び「東山老人ホーム組合」を削り、「有明生活環境施設組合」の次に「ふくおか県央環境広域施設組合」を加えるものでございます。

なお、附則において、この規約は平成31年4月1日から施行することとされております。

以上で、福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更の説明を終わります。

ご審議のうえ、ご議決賜わりますようお願い申し上げます。

○議長（藤浦 誠一）

提案理由の説明が終了しましたので質疑を許します。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑を終結いたします。

討論を許します。討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論を終結いたします。

採決いたします。議案第2号「福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の増減及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更」を原案どおり可決することにご異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案どおり可決されました。

次に、一般質問ですが、一般質問の通告はあっておりませんので、一般質問を終結いたします。

次に、署名議員を指名いたします。8番坂口政義議員、9番兼本芳雄議員。

以上をもちまして、議事日程のすべてを終了いたしましたので、平成31年第1回飯塚地区消防組合議会定例会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

午後2時43分 閉会

●出席議員

(出席議員 13名)

1番 藤浦誠一	8番 坂口政義
2番 山倉敏明	9番 兼本芳雄
3番 梶原善充	10番 秀村長利
4番 原中政廣	11番 田中博文
5番 下川康弘	12番 道祖満
6番 藤伸一	13番 坂平末雄
7番 中村春夫	

●職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局書記	坂田潤治
〃	徳永進一郎
〃	中野貴博
〃	吉田達郎
〃	利光良平

●説明のため出席した者

組合長	片峯誠
副組合長	赤間幸弘
副組合長	井上利一
消防長	鬼丸徳寿
総務課長	笹尾清隆
予防課長	藤川伸之
予防課課長補佐	佐藤康道
警防課長	藤川啓司
警防課長補佐	高岩伸親
飯塚署長	大谷繁憲
山田署長	打田雅彦
桂川署長	横江浩
飯塚署副署長	平野俊之
総務課長補佐	篠崎太望
総務課会計係長	和多良
会計管理者	長野文彦